

Q3-4. 放流孔の閉塞対策として設置する流木等捕捉施設やスクリーンの機能はどのようなものでしょうか。

○放流孔の閉塞対策として設置する流木等捕捉施設やスクリーンの機能について、洪水の流れに沿って説明します。

○洪水初期で水位が低い時は流木等捕捉施設で流木や大きめの石を捕捉します。(図-1)

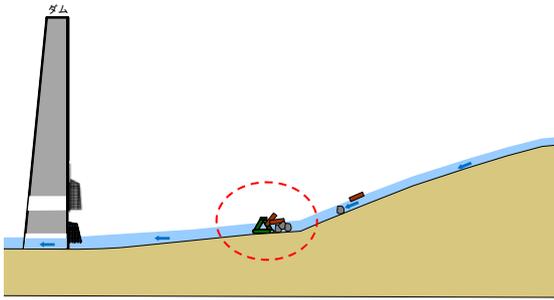
○その後、水位が流木等捕捉施設を越える場合は、スクリーンにより流木を捕捉します。(図-2)

○このとき、水位の上昇に伴い、スクリーンで捕捉された流木の大部分は浮き上がり(図-3)、大きめの石は、湛水で流速が遅くなり、動かなくなります。

○その後、貯水位の低下とともに流木も下がってきますが、スクリーンを設置しているため、流木はスクリーンで捕捉されます。(図-4)

○洪水が終わり、通常の状態に戻った後に、流木や大きめの石を撤去し、次の洪水に備えます。

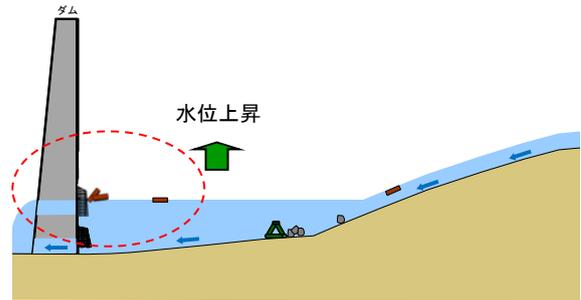
①洪水初期



洪水初期で水位が低い時は流木等捕捉施設に大きめの石や流木が捕捉されます。

図一 1 流木等の捕捉イメージ
(洪水初期)

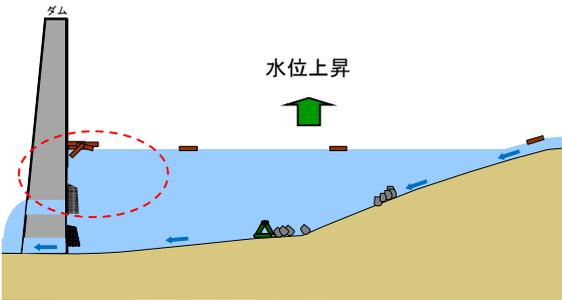
②水位上昇時



水位が上昇すると流木も浮きますが放流する穴にはスクリーンを設置しており、流木はスクリーンに捕捉されます。

図一 2 流木等の捕捉イメージ
(水位上昇時)

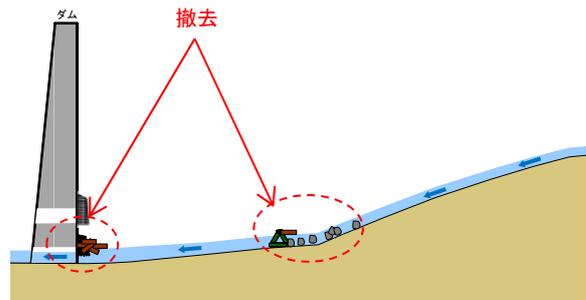
③水位上昇時



流木は水面に浮かぶため、水位が上昇するのと合わせて大部分の流木も上昇します。

図一 3 流木等の捕捉イメージ
(水位上昇時)

④洪水後



水位の低下に合わせて流木も下降しますが、放流する穴にスクリーンを設置しているため、流木が捕捉されます。通常の状態に戻った後に流木や大きめの石を撤去します。

図一 4 流木等の捕捉イメージ
(洪水後)